**令和6年度公共図書館等職員レファレンス研修(中級)**

**実　施　要　項**

１　趣　　旨

情報通信技術の急速な進化、情報環境の多様化に伴い、公共図書館が提供する情報資源は図書・新聞・雑誌等の出版物だけでなく、データベースやインターネットの電子情報等、多種・多様化している。このような情勢に対応できる人材の育成のため、本研修では、出版物と電子情報を活用した、高度な検索技術の習得を目指す。

２　主　　催

　　福岡県立図書館

３　対　　象

　　図書館レファレンス業務経験が延べ３年以上で、当研修を初めて受講する方

* 業務経験が延べ３年未満の方を対象とした公共図書館等職員レファレンス研修(初級)は、

10月末頃の実施を予定しております。詳細は追ってお知らせいたします

４　期　　日

　　令和6年10月7日（月）

５　募集人数

講義のみ（午前の部）：30名

講義と演習（1日）：１２名

* 申込者多数の場合は当方で調整します。

６　会　　場

　　午前の部：福岡県立図書館　別館2階　研修室

　　午後の部：福岡県立図書館　本館２階　第二閲覧室

７　研修日程

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 研　　修　　内　　容 |
| 午前の部 | 9：50～10：00 | 開会式 |
| 10：00～12：00（質疑応答含む） | 講義「レファレンス質問を解くコツ　－事例と新しいツールをいくつか」講師：小林　昌樹　氏慶応義塾大学講師、元国立国会図書館司書 |
| 12：00～13：00 | 休憩 |
| 午後の部 | 13：00～16：15 | レファレンス課題調査（演習）（講師：県立図書館職員） | 複数の資料、情報源を組み合わせた調査及び検討を行います。 |
| 16：15～16：30 | 閉会式 |

【講師紹介】

小林　昌樹（こばやし　まさき）氏

1992年国立国会図書館入館。2005年からレファレンス業務に従事。2021年に早期退職して慶應義塾大学で講師をする傍ら、近代出版研究所を設立、同所長を務める。主な著書に『公共図書館の冒険：未来につながるヒストリー』（みすず書房　第二章を担当）、『もっと調べる技術　国会図書館秘伝のレファレンス・チップス2』（皓星社）がある。

８　申込方法

参加申込書ファイル（エクセル）をダウンロード、必要事項及びアンケートへの回答を入力・保存の上、メールの添付ファイルにて申し込む（申込者１名につき１ファイル）

９　申込期限

令和6年8月6日（火）必着

申込書到着後５日以内に申込受領についてメールにて御連絡します。５日以内に連絡がない場合は、下記までお問合せください。

受講可否の通知は8月下旬を予定しています。

10 申込・問合せ先

福岡県立図書館　資料支援室　調査相談班　（担当：井口）

E-mail sodan00@lib.pref.fukuoka.jp TEL 092-641-1128

11 その他

受講者には事前に課題（レファレンス演習課題１問）を出題します。課題は受講決定後、8月下旬にお知らせいたします。また、既にレファレンスの基礎的知識を習得していることを前提に講義を進めていきますので、あらかじめ下記のレファレンスに関する資料等での自習を推奨します。

例：『レファレンスブックス』（長澤 雅男／[ほか]著　日本図書館協会　2020）

『情報サービス演習』（大谷 康晴／[ほか]共編著　日本図書館協会　2020）

『情報サービス演習』（原田 智子／編著　樹村房　2021）

『インターネットで文献探索』（伊藤 民雄／著　2022）

『プロ司書の検索術』（入矢 玲子／著　日外アソシエーツ　2020）※KinoDenあり

『スキルアップ!情報検索』（中島 玲子／著　日外アソシエーツ　2021）※KinoDenあり

等

* 福岡県立図書館電子書籍「KinoDen」には図書館学の資料が多数ありますので、

ぜひ御活用ください。